

(様式2)

平成23年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

I 自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付けさせる。 (2) ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にさせる。 (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇ 環境・管理	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・多くの生徒が十分清掃されていると思っているが、さらにきれいにしたい意識を持っている一方、昼食時の包装袋や飲料水の容器等のゴミをゴミ箱に捨てないで放置する人が若干いることは残念である。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇明るく清潔な学校生活(学習環境)を樹立するために、全生徒一人ひとりが美化意識を持ち、自ら校舎をはじめ様々な公共施設や地域社会でもゴミを捨てない心優しい生徒を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・議題提案 分掌会議(環境管理部) → 企画委員会 → 職員会議 ・生徒徹底 環境委員会(1年各クラス2名、2・3年各クラス1名) → 各HR	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 日頃から「汚さない」意識を持たせ、普通清掃においても分別回収の徹底を図り、校内美化とリサイクル活動の推進に努める。 (2) 防災訓練を通して、自衛消防組織の危機管理機能を確認し、さらに命の大切さを自覚させる。また、消防署と連携して訓練・研修の充実に努める。	(1) 来校者や保護者の皆様から、教室をはじめどこも、いつもきれいで、また来校していただけるような学校づくりに努めているか。 (2) 校内だけでなく事故を未然に防止するために安全教育、安全対策がとられているか。もし、災害が発生した場合に、一人ひとりが迅速で的確に行動ができるか。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・早朝「ボランティア清掃」、授業終了後の清掃活動及び各学期末に行う大掃除がある。また、より活動意識を高めるために「クリーン新聞」を発行し、生徒に美化意識を持たせるように努めた。 ・一学期末・二学期末には防災避難訓練を実施し、緊急時の対応として消火器の取り扱い方等を取り入れた。さらに、教職員に対しては12月26日(冬季休業)救急救命講習会を通して災害・事故時への迅速な対応法について学んで貰った。	①クラスとして、また生徒一人ひとりが自主的に清掃活動に取り組むことができたか。さらに、ボランティア清掃活動に協力して取り組んでいるか。 ②指示に従って、迅速で安全に、さらに周囲状況を注視しながら生徒・職員一人ひとりが素早く行動できたか。	A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	総合評価	
○校内美化の意識を高めることで、校内外でのゴミの減量化につなげるために、一層校内美化に努めた。 ○防災訓練を通して安全教育を定着させ、さらに適切で迅速な行動の育成と生徒及び教職員が避難経路を確認することができた。 ●今年度は、地域清掃活動が天候不順のため中止になったことは残念であった。また、生徒諸君の一部には校内にゴミ「ポイ捨て」をする人がいることは残念であり、これからも美化に対する意識改革を推し進める必要がある。	A (B) C D	
12 来年度に向けての改善方策案	・昨年度末に大きな自然災害(東日本大震災)が発生したことは大変悲しいことであり、生徒・全職員	

がいつ発生するかわからない災害に、いつでも適切に行動するために「学校安全マニュアル」の見直し、それを定着させ、さらに防災に対する意識を日頃から高められるように働きかけたい。

- ・定期的に校内の点検を行い、事故等の未然防止に努めたい。
- ・環境委員会の活動を通して美化意識の高揚を図り、より活発化することで全校生徒の意識改革に繋げたい。(環境美化週間の推進)

II 学校関係者評価

実施年月日：平成24年1月16日

【意見・要望・評価等】

・特になし。